

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和5年度事業点検・評価調書

4-I-8

4-I-8

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	佐渡航路のピーク時を想定した対応の検討
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等	事業主体	佐渡汽船(株)
事業(施策)名	8 ピーク時海上輸送体制構築	関連団体	県交通政策課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡航路のピーク時を考慮した海上輸送体制を構築し、来訪者が急増した際に対応する。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送実績や輸送トレンド、観光客の需要予測などを踏まえダイヤを設定し、予約の急激な増加については、増便等により海上輸送体制の確保を図る。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ジェットfoil及び車両航送を中心に、予約制導入の周知による当日新規利用者への混乱と混雑回避、また、スムーズな手続きと乗船 ○ ジェットfoilの予約状況を考慮し、定期便に加えて臨時便を設定 		
これまでの実績	<p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予約制周知においては、ホームページ掲載により継続的に周知を実施している。 ● コロナ禍の影響もあり、当年度の注意喚起は適宜実施した。 		
事業計画と実績	<p>【R5年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 輸送需要に応じ、ジェットfoilの臨時便を設定することでピーク時増便による海上輸送体制を確保する。 ● 来訪者が急増することを想定し乗船手続きの簡素化、デジタルチケット発券の利用者割合を増加させることで、当日乗船時の混乱回避、スムーズな乗船を実現する。 <p>【R5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2023年4月-11月現在でジェットfoilを196便臨時運航し、輸送需要増に対する輸送体制を確保した。 ● 2023年4月より、佐渡汽船主催の個人型旅行商品を原則WEB販売とすることで、乗船窓口での手続き行程を短縮し、スムーズな乗船に寄与した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 予約無し乗船者が一定数おり、輸送需要予測を立てる上での課題となっている。 ■ スムーズな手続き・乗船に関する課題としては、きっぷ窓口、自動券売機の手続きを短縮すること。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 予約方法の解説動画等を制作、周知し予約率上昇を図る。 ■ 電子チケット発券を推進することで手続きレス乗船を増加させる。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR5末の達成度】 ◇ 隣接する朱鷺メッセで開催される大規模イベントにより、夏季繁忙期中に乗り遅れや延発が発生したが、臨時便は輸送需要を十分に満たす設定を行った。</p> <p>[A・(B)・C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。